

易観国際 中国 IT マンスリーニュース

2017年3・4月



目次

第4四半期のB2C市場 28.9%の伸び.....	2
第4四半期の越境EC市場 957億元に.....	2
モバイルEC市場の売上 1兆円突破.....	4
B2C書籍の売上ゆるやかに回復へ.....	5
B2Cアパレル販売、3000億元越え好調.....	5
スマホ販売台数 3年後に 4.65億台と予測.....	6
フードデリバリー市場 95.3%増と好調.....	7
モバイルゲーム市場の売上 177億元に.....	8

易観国際 中国 IT マンスリーニュースは易観国際のアナリストによる中国のIT業界に関するレポートを日本語化して配信しています。易観国際は中国におけるIT業界の最大規模の専門家チームとして、多くの中国企業・外資企業のコンサルティングや調査プロジェクトに携わっており、中国のIT動向について幅広く研究・分析を続けています。クララオンラインは日本における易観国際の独占的なパートナーとして、日本語での最新の中国の情報をご提供し、皆様の中国における活動をサポートします。

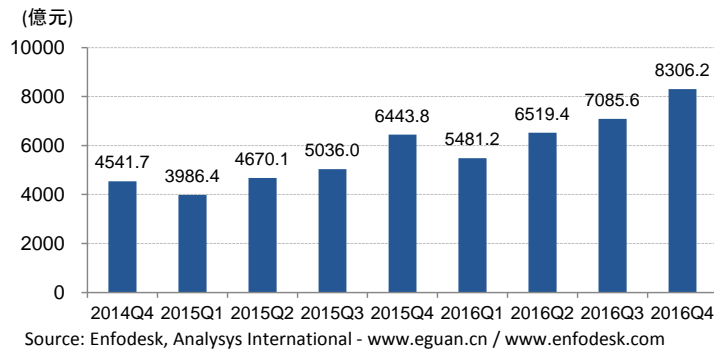
- 本レポートは、易観国際及び易観国際グループ各社(以下「易観国際」といいます)発行のニュースを、易観国際からの許諾に基づき、易観国際の日本における独占的な総代理店である株式会社クララオンライン(以下「クララオンライン」といいます)が日本語に翻訳したものです。本レポートに掲載された内容は発行時における易観国際の見解や予測を紹介するもので、予告なしに変更することがあります。易観国際及びクララオンラインはここに記載された情報が十分信頼に足るものと考えていますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 日本語版の本レポートのいかなる部分について、クララオンラインの書面による事前の了解なく複製、再生、再発行、販売、配布、送信、回付、修正、表示したり、またいかなる目的でも使用したりすることはできません。これには二次的著作物を作成する際に本レポートを利用する場合も含まれますが、これに限定されるものではありません。クララオンラインの許可を事前に申請する際には <https://www.eguan.jp/contact> からご連絡ください。
- 本レポートでは中国とは中華人民共和国を指しており、台湾、香港特別行政区、マカオ特別行政区は含んでいません。
- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンラインコンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします

本レポートはクララオンラインコンサルティングサービスチームにより翻訳されたものです。クララオンラインの中国インターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。
asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0777

第4四半期のB2C市場 28.9%の伸び

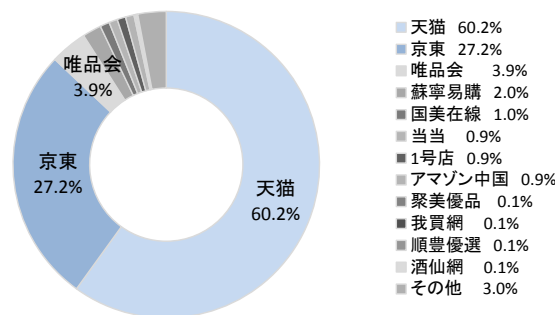
易観智库がこのほど発表した「2016年第4四半期(10-12月)中国B2C市場季度監測」によると、同期間中のB2C市場の売上は8306.2億元で、前年同期に比べ28.9%増加した。B2Bを含むEC市場全体の取引規模は1兆4004億2000万元で、同18.9%増となった。

2014Q4-2016Q4 中国B2C市場規模



サイト別では天猫が60.2%のシェアでトップを維持しており、京東が27.2%、唯品会が3.9%と続いた。

2016Q4 中国B2C市場シェア(取引高)



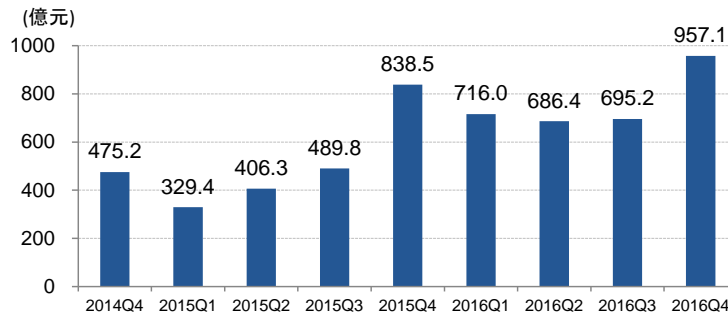
易観智库の分析によると、第4四半期も成長を維持したものの成長幅は縮小傾向にある。「双十一」のような大規模なセールには売上が伸びるが、消費者は理性的にショッピングをする傾向が強まっており、これまでのように何でも売れる時代ではなくなっている。

また大手プラットフォームは、サプライチェーン、ショッピング、決済、保険、物流といった一連の機能を揃え、サービスを集約した高効率な小売を追求し始めている。同時に大手である強みを生かして、国際的な有名ブランドとの提携を強化したり、より上流の製造工程にまで進出して商品の品質コントロールを徹底したりする動きが出ている。

第4四半期の越境EC市場 957億元に

易観智库がこのほど発表した「2016年第4四半期(10-12月)中国越境EC市場季度監測報告」によると、同期間中の越境ECの市場規模は957.1億元で、前期に比べ37.7%増加した。

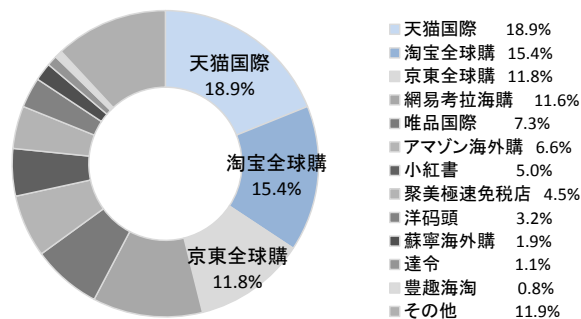
2014Q4-2016Q4 中国越境EC市場規模



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

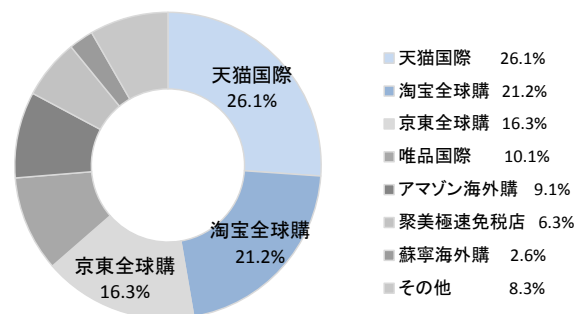
市場シェアは分散傾向にあり、トップは天猫国際の 18.9%だが、淘宝全球購が 15.4%、京東全球購が 11.8%、網易考拉海購が 11.6%と拮抗している。大型 EC サイトの越境 EC サービスに限定すれば、阿里巴巴グループの天猫国際と淘宝全球購で市場のおよそ半分のシェアを占めている状況だ。

2016Q4 中国越境EC市場総合売上シェア



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

2016Q4 大型ECサイトの越境ECサービス売上シェア



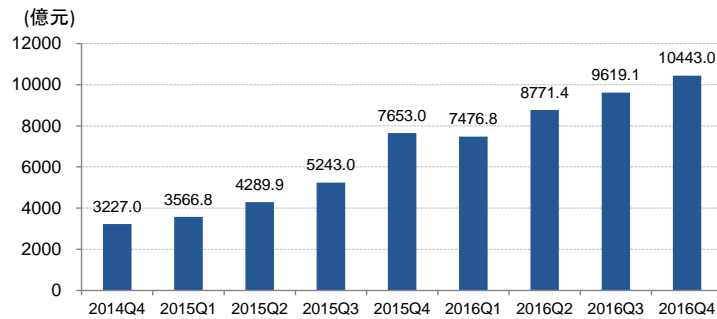
Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

越境 EC 市場では化粧品の税制変更があり、高級化粧品に該当する商品の税率が 15%に引き上げられた。また越境 EC の新税制のスタートが再度延期になったことから、越境 EC を展開する企業はこの間に品ぞろえの見直しを進めている模様だ。

モバイル EC 市場の売上 1 兆円突破

易観智库がこのほど発表した「2016年第4四半期(10-12月)中国モバイルショッピング市場季度監測報告」によれば、同期間中の売上は1兆443億元で、前年同期比36.5%増加した。伸び幅は四期連続で縮小している。

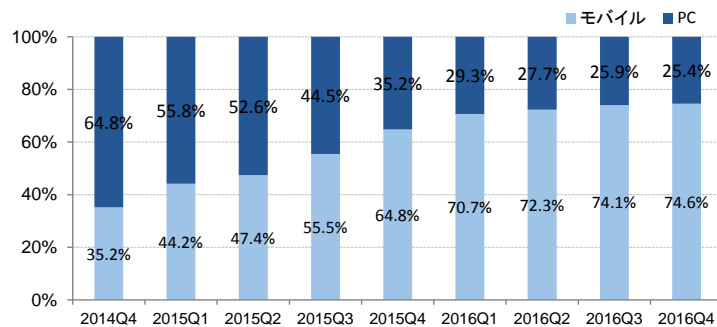
2014Q4-2016Q4 中国モバイルショッピング市場取引規模



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

ネットショッピングに占めるモバイルからの購入比率は74.6%で、前期より0.5ポイント上昇し、過去最高を更新した。

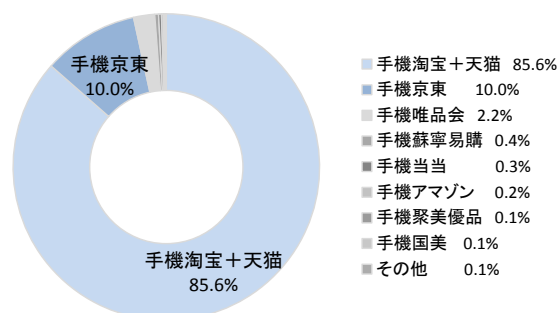
2014Q4-2016Q4 中国ネットショッピング市場端末比率



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

またサービス別の市場シェアは、手機淘宝+天猫が85.6%を占めており、2位は手機京東で10.0%、3位は唯品会で2.2%だった。

2016Q4モバイルショッピング市場シェア(売上高)



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

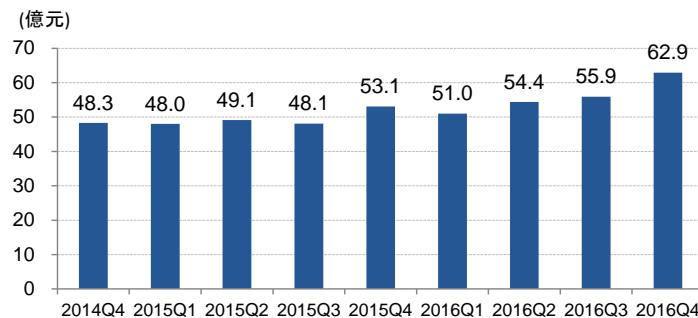
易観智库の分析では、モバイルショッピング領域では、ビッグデータに基づいたおすすめ商品の提示精度が向上しており、動画配信サービスを使った広告が普及したことも相まっ

て、ショッピング体験が大きく改善されている。「コンテンツ+コミュニティ+EC」のビジネスモデルは、モバイルショッピング運営の定番となっている。

B2C 書籍の売上ゆるやかに回復へ

易観智库がこのほど発表した「2016年第4四半期(10-12月)中国B2C市場季度監測報告」によれば、同期間中のB2C市場における出版物の売上は前年同期比18.5%増の62.9億元に達した。

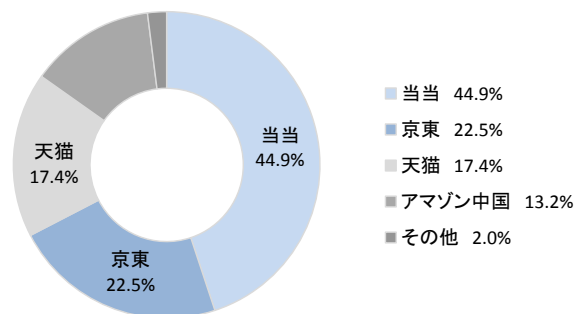
2014Q4-2016Q4 中国B2C市場出版物売上高



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

サイト別のシェアは当当自营が44.9%、京東が22.5%、天猫が17.4%だった。

2016Q4 中国B2C出版物市場シェア(売上高)



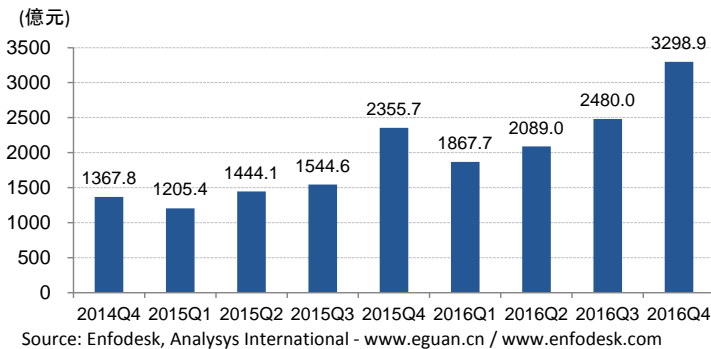
Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

易観智库の分析では、国内消費のレベルアップがカルチャー領域の消費を後押ししたことで出版物の売上が伸びたと見ている。今後の傾向として、原作IPの価値が重視されるようになることや本を含むカルチャー領域のイノベーションが多角的に発展することが期待される。

B2C アパレル販売、3000 億元越え好調

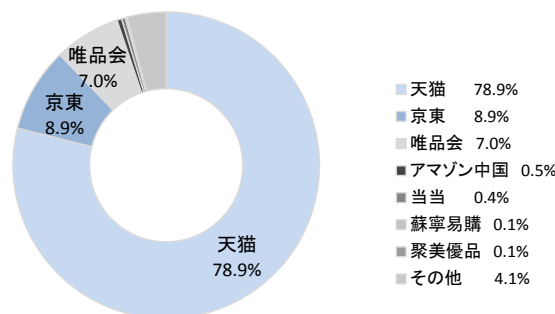
易観智库がこのほど発表した「2016年第4四半期(10-12月)中国B2C市場季度監測」によると、同期間中のB2C市場におけるアパレル製品の売上は3298.9億元で、前年同期に比べ40.0%増加した。

2014Q4-2016Q4 中国B2Cアパレル市場規模



サイト別の市場シェアは、天猫が 78.9%、京東が 8.9%となっている。

2016Q4 中国B2Cアパレル市場シェア(取引高)

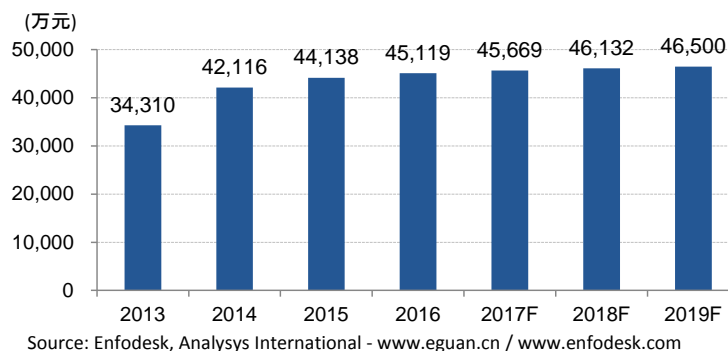


易観智库の分析では、例年第 4 四半期は祝日や大型セールが多いことからアパレル販売のピークになっている。消費者のし好に合わせた差別化が加速していることから、アパレル市場は今後もさらに拡大することが期待される。

スマホ販売台数 3 年後に 4.65 億台と予測

易観智库がこのほど発表したレポートによれば、2017 年の中国のスマートフォン販売台数は 4 億 5669 万台に上り、2015 年に比べて 1.2%増加する見通しだ。2019 年には 4 億 6500 万台まで伸びるが、伸び幅は 0.8%まで縮小するとみている（いずれも密輸入品およびコピー商品を除く）。

2013-2019年のスマートフォン販売台数予測



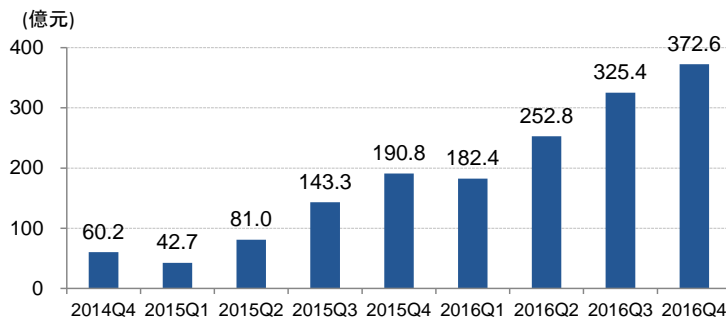
レポートでは、中国のスマートフォン産業はすでに成熟段階にあり、国産端末の製造と販売が好調だと評価した。2016年に製造されたスマートフォンの実に80%以上が中国製だという。

またスマートフォンブームが訪れる以前は、通信キャリアと手を組んで1000元程度の格安端末を普及する戦略を取っていたが、利益が少なく、製品の同質化も深刻だった。しかしインターネットでのメーカー直販が当たり前になった今では、デザイン性と性能が重視されるようになり、品質とサービス水準の向上につながった。特に直販では、華為（HUAWEI）のMateシリーズや联想（Lenovo）のVIBEシリーズを代表とするハイエンド端末が好調な売れ行きを見せている。

フードデリバリー市場 95.3%増と好調

易観智库がこのほど発表した「2016年第4四半期(10-12月)中国インターネットフードデリバリー市場季度監測」によれば、同期間中の売上は372.6億元で、前期に比べ14.5%、前年同期に比べ95.3%の伸びとなった。しかし伸び幅は3期連続で縮小している。

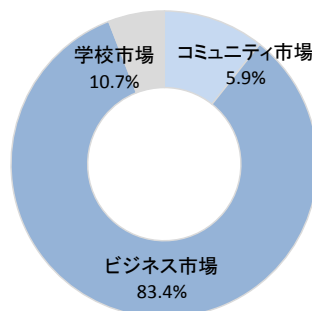
2014Q4-2016Q4 中国フードデリバリー市場規模



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

また中国のフードデリバリー市場は、大きく分けて大学、ビジネス、コミュニティの3つあるが、最も大きいビジネス市場の売上は310.7億元で、全体の83.4%を占める。主な顧客は都市部で働くホワイトカラーのビジネスパーソンだ。続いて大学内の寮に住む学生をターゲットとする大学市場が全体の10.7%、自宅へのデリバリーを含むコミュニティ市場が5.9%を占めた。

2016Q4 中国フードデリバリー市場シェア (売上ベース)



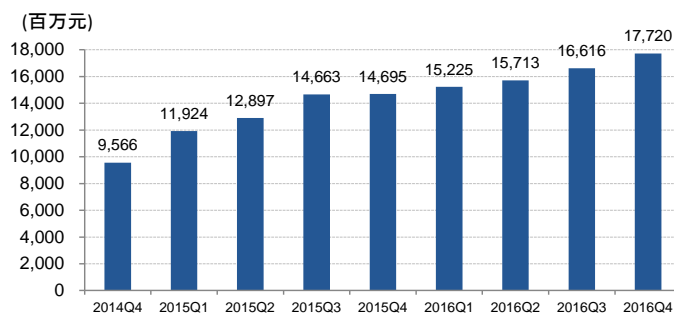
Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

2016年通年の市場規模は1133億元で、中国の飲食業全体に占める割合は3.2%となった。易観智库の予測では、今後3年間にさらに利用者が増え続け、2019年には7.6%に達するとみている。

モバイルゲーム市場の売上 177 億元に

易観智库がこのほど発表した「2016年第4四半期(10-12月)中国モバイルゲーム市場季度監測」によれば、同期間中の市場規模は177.2億元だった。前期に比べ6.6%、前年同期に比べ20.59%それぞれ増加した。

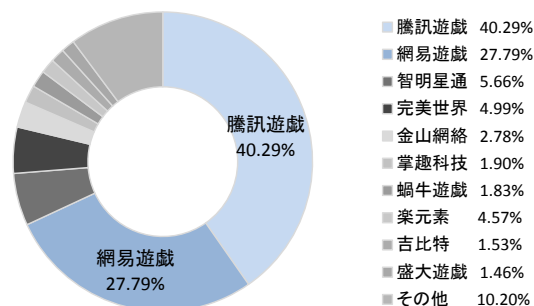
2014Q4-2016Q4 中国モバイルゲーム市場規模



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

売上高を元にした市場シェアは騰訊遊戯が40.29%、網易遊戯が27.79%で、両社とも前期に比べシェアを伸ばした。上位2社で市場の68%を握っている。

2016Q4 モバイルゲーム開発会社の市場シェア(売上ベース)



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

騰訊遊戯は、グループ会社が開発した「王者榮耀」が長くランキングのトップを維持したことから、売上も好調だった。一方の網易遊戯はオリジナル開発の「陰陽師」が10月の世界のiOSランキングで初めてトップにランクインした。息の長いゲームが同社の売上の多くを支えており、近い将来には騰訊遊戯のシェアを上回る可能性もある。